

2017年7月7日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第41号

リオ市南部『チジュッカ国立公園』内において強盗被害が多発

リオ市南部の『チジュッカ国立公園』内において、強盗被害が多発しています。
報道によると、『ラージェ公園』から『コルコバードの丘』へと通じる遊歩道において、この10日間で、少なくとも58名の旅行者等が襲われているとのことです。
州文民警察観光警察署などは、当該散歩道利用の危険性を訴えるとともに、完璧な警戒は難しいとしつつ、当該遊歩道の閉鎖を求める考えを示しています。

※ 当館から

当該散歩道は、犯人が隠れやすく、逃げやすい、さらには、襲いやすい（目撃されにくい）といった犯人側にとって絶好の場所です。また、集団で訪れても、犯人が凶器等を所持していることから、単に被害者を増やすだけとの見方もあります。

安全は全てに優先するということを念頭に置いて、安全が確認されない間は、同遊歩道の利用を控えるようにして下さい。